

# 会報

2008.10.30

第50号

## 戦没船を記録する会

〒105-0014 東京都港区芝2-8-13 睦マンション206  
Tel:03-3452-5085 FAX:03-3452-2711 郵便振替001606-719515  
URL:www.ric.hi-ho.ne.jp/senbotusen/  
E-mail: senbotu@ric.hi-ho.ne.jp

### 理事会報告

## 年度内は現役員 体制で活動継続

本会の本年度第1回理事会は、8月7日東京浜松町海員会館で理事9名が出席して開催された。川島会長は健康上の理由で欠席された。

この会議は本会の事務局を置く海上労働ネットワークが、7月17日の第10回定期総会で、本年11月をもって解散する方針を決定した事を受けて、事務局閉鎖後の活動をどのようにするか検討するため、4月の定期総会時に決められていた会議であった。

また定期総会では、事務局閉鎖後も戦没船を記録する会として活動を続ける。連絡場所は事務局担当者宅とする。可能な範囲で現在の活動を継続する。会員は現会員と会の趣旨に賛同するもの。役員は事務局存続中は現状のままとする。会費は徴収しない。などの方針が決められていた。

今次理事会では、本会の所有する資料・書籍などを整理して、必要なものを除き希望者に配布する。資料等の保管場所を海員組合に依頼・確保。などの報告があった。

今後の活動について逐次論議されたが、事務局がなくなってどのような活動が可能であるか。閉鎖後の活動は限られた範囲になるのではないかと。記録する会の名前で情性的にならないよう、どこかで区切りが必要ではないか。等の意見もあった。

その結果、活動としては会報の発行を継続。各地の展示会参加、資料の貸し出しを行う。11月頃理事会を開催、今後の活動体制と次期総会

## 目次

理事会報告	1
年度内は現役員体制で活動継続	
焼津2008 平和のための戦争展	2
平和の尊さ理解をサポート	
2008 平和のための埼玉の戦争展	4
日本船員の戦後は終わっていない	
父の姿もう一度	6
63年目の父	7
許せない厚生年金記録改ざん	8

日程を決める。役員は次期総会まで現行体制とすること。

また海上労働ネットワークの「解散集会」に全面的に協力する事とした。出席を希望する方は事務局まで連絡されたい。

なお、その後海労ネットの定例役員会が残務整理の必要から事務局閉鎖を12月としたため、本会の理事会を別記の通り11月27日開催し、事務局がなくなった後の活動のあり方と組織体制、理事会・次期定期総会の日程などを協議決定することとした。

### 理事会開催告示

戦没船を記録する会々長 川島 裕

下記により第15年度第2回理事会を開催いたします。奮ってご参加下さい。

記

日時 2008年11月27日(木) 14時より  
場所 東京浜松町海員会館 第2会議室  
議題 事務局閉鎖後の活動と組織体制  
同上 連絡・事務局体制  
第15年度第3回理事会開催日程  
第16回定期総会日程  
その他

### 海上労働ネットワーク解散集会案内

日時 2008年11月15日(土)  
午後2時 受付開始  
2時30分 報告集会  
3時30分～5時30分 懇親会  
場所 ホテルマリナーズコート東京  
電話 03-5560-2525  
会費 1人 3,000円  
多数の皆さんのご出席をお待ちしております。

## 焼津2008平和のための戦争展

# 焼津の戦争被害等を展示 平和の尊さ理解をサポート

### はじめに

焼津では平和の尊さを広く市民に知っていただくために、毎年「焼津における平和のための戦争展」を開催している。

今年は、9回目を焼津ふれあいホール「エコリオ」ギャラリーで、8月1日(金)~3日(日)の3日間、焼津における戦争の被害、第5福竜丸事件と原爆展、中国残留孤児についておよびアフガニスタン難民キャンプの子どもたち等々を展示し、展示に関するトークコーナーを2回設けた。8月16日(土)には焼津市文化センターで平和のための映画会を、子供向けと成人向けに各1回催した。

### 主な展示内容

- 1、焼津漁業と徴用船の歴史
  - ・焼津以外にも被災船があった
  - ・戦没船員の記録の会から借用した資料(小型戦没船・船員数等)
- 2、3・1ピキニと第5福竜丸事件
  - ・第5福竜丸事件は世界史を動かす源泉
  - ・各地に降った放射能雨
  - ・久保山すずさん直筆「祈り船」
- 3、市民参加コーナー
  - ・中国残留孤児のいま(概説、年表、地図)
  - ・アフガニスタン難民キャンプの子どもたち(広河隆一氏写真展)
  - ・市民から寄せられた短歌・絵画・絵手紙・書道
- 4、原爆展のパネル展示

### トークコーナー

- 1、8月2日(土)第5福竜丸事件と私(飯塚利弘氏) 入場者51名
- 2、8月3日(日)中国残留孤児の証言(帰国女性孤児3名) 入場者41名

### 平和のための映画会

- 1、幼児・小学生向けアニメ映画短編2本「さよならカバくん/おかあちゃんごめんね」、入場者134人
- 2、中学生以上成人向け映画「夕凧の街、桜の国」入場者160人

### 市民の反応等

展示は3日間で約550人が入場した。



小学生は、アフガン難民の子どもたちの写真を見て

目の病気とかでかわいそうだった。食べる物がなくて細くなっていた。かわいそうでたまらない。こんなことが日本であつたらどうしよう。

その時の苦しさ悲しさが絵などを見てわかりました。これからは米ひとつぶづつありがたみを思って食べたいです。

などの感想が寄せた。

大人(30~40歳台)の感想は、

孤児のことや広河さんの写真など、過去の戦争と現在の戦争、広く考えさせられる情報を得た久保山すずさんが悲しみから立ち直り、平和運動に入った姿には拍手をおくと共に、私も子どもたちの未来のために平和を訴えていきたい。

戦争はとても残酷だと思う。誰も得する人はいないのに、上に立つ人の考えでこわいと思います。終戦後に生れたので実感はないですが、戦争には絶対反対です。等々。

なお、メディアの取材では、「静岡第一テレビあさひテレビ」「ケーブルテレビ」「地元港報」「しんぶん赤旗」等が取り上げていた。

### 事前準備と宣伝等

実行委員会へは26名が参加し、担当する部門を4つに別け、資料収集・作成等を行った。

市民に対する宣伝や案内は、市の広報紙や地方紙に掲載の依頼し広範に行っているが、地方紙は必ずしも全社が取り上げてくれるとは限らない。また、テレビ局へも日程を報道するよう働きかけているが、なかなか思うように取り上げてもらえないのが実態である。

市内全ての幼稚園、小・中学校には、市の教育委員会を通して、生徒に直接渡すよう全生徒数のピラの配布を依頼している。高等学校には担当者

が必要部数のビラ・ポスターを直接持ってゆく。その他公共的な施設にポスターの掲示をお願いしている。

#### 財政問題

市から協賛金をいただいる。また、市議会や各種団体、協力者および開催中一般の募金からなんとかやりくりしている。しかしながら、地方自治体の財政事情から市の協賛金がカットされようとしており、心配の種である。

#### 今後の課題

政府はテロ撲滅を図るとして、アフガニスタンの紛争やイラク戦争に自衛隊を派遣し、米国と一

緒になって戦争する国へと突き進んでいる。まさに平和憲法を踏みにじる許しがたい行為である。さらに、米国のいいなりに憲法9条を改悪しようとする危険な動きが強まっている。

こうした背景を考えると、次代を担う若い世代自らが、平和を守ろうとする声を示さないと戦前同様大勢にまかれてしまい、再び危険な道を進みかねない。

私たちが率先して、青少年・少女や若い世代が平和の尊さを理解できるよう、あらゆる方法で平和を訴えたい工夫と努力が一層必要であることを痛感させられている。(2008年10月、山口)

### 焼津2007平和のための戦争展

## パネル展・トーク ・映画会等多彩な催し

#### 1. はじめに

2000年から始めた「焼津における平和のための戦争展」は、今回で8回目。

近年、世論・メディア等を誘導し、憲法9条を改悪して米国と一緒に戦争する国にしようとする危険な動きが強まってきている。

太平洋戦争で受けた残虐・悲惨・非道さは、戦争の恐ろしさをすべて物語っている。当時の歴史や背景を広く市民に知らせ、平和で安全な社会を未来につなげようとの願いで、毎年平和のための戦争展を開催している。

昨年は8月3日(金)~5日(日)の3日間、焼津公民館で展示を行ない、日程の都合上8月18日(土)焼津市文化センターで平和のための映画会を開催した。

#### 2. 展示の内容

次のパネルや写真の展示を行った。

- (1) 焼津漁業と徴用船の歴史
- (2) 3.1ピキニと第5福竜丸事件
  - ・パネルで学ぶ第5福竜丸事件
  - ・各地に降った放射能雨
  - ・焼津以外にも被災船があった
- (3) 市民参加コーナー
  - ・市民から寄せられた短歌、絵画、絵手紙、書道
  - ・映画「日本の青空」の紹介
  - ・中国で何があったのか
    - = 中国東北地方平頂山事件・731部隊
- (4) 原爆展のパネル展示

(5) レイテ戦の戦没船(戦没船を記録する会)

#### 3. トークコーナー

- (1) 漁船と戦争(高橋鑛逸)
- (2) 終戦とシベリヤ抑留体験談(成岡高司)
- (3) 中国で何があったのか(藤牧正弘・片野秋男)

#### 4. 平和のための映画会

- (1) 子どもアニメ映画「おこりじぞう、つるにのって」
- (2) 「戦場のアリア」

#### 5. 市民の反応等

展示には3日間で602人が入場し、3回のトークコーナーには合計159人が熱心に聴き入った。アニメ映画には親子で162人、「戦場のアリア」には136人が鑑賞した。

入場者から次のような感想が寄せられた。

- ・今はこんなことは起きないが、過去のこととして終わってしまうのはいけない。
  - ・このままだと資料が散逸してしまうので、公共の収集・保存する場がほしい。
  - ・回顧だけでなく、現実に実施されている戦争のパネルを追加して紹介してほしい。
- なお、メディアの取材は「地元あさひテレビ」「地元広報紙」「しんぶん赤旗」からあった。

#### 6. 今後の課題

来館者を増やすために宣伝・案内を市の広報紙や地方紙に掲載したり、幼稚園、小・中学校、高等学校にビラ・ポスターを配布している。

青少年・少女、中年以下の若い世代がもう少し来館してもらえたらと、反省の声が毎年のように出る。来館者の中心が50代以上であることは、次代を担う若い市民へ平和の尊さを伝える工夫がまだまだ不足だと考える。(2008.4月、山口)  
<事務局の手違いで、掲載が遅くなったことをお詫びします>

2008平和のための埼玉の戦争展

## 日本船員の戦後は終わっていない 戦没船員の記録未整備 ・遺骨収集放置

思考を凝らした全体展示

「2008平和のための埼玉の戦争展」が、7月24～28日の5日間JR浦和駅前のコルソで開かれた。

同展は今年で25回目であったが、家族連れ、学生仲間、老夫婦、友達、職場仲間、諸グループ等、多様な形で約11,000人の来場があった。

全体としては、「この子たちの未来のために 世界を変える人になろう」をメインスローガンとし、今の世界と向き合う「日米同盟」の実態を知る日本国憲法を学ぶ 非暴力・平和の展望を探る君も今日からはじめよう 過去の戦争から学ぶ「核のない世界」をめざして一等のコーナーが設けられ、思考を凝らしたパネル展となった。

本会の展示

本会は「持ち込みグループ」として「過去の戦争から学ぶ」コーナーに参加し、「戦没船員の遺骨収集」と「小型戦没船・戦没船員」を取り上げ、次のパネルを展示し解説を行った。

### A、戦没船員の遺骨収集

- 1、今も海底に眠る船員の遺骨(別掲)
- 2、トラック島近辺の沈船図
- 3、海底に眠る戦没遺骨写真(2枚)
- 4、トラック海底の戦没船残骸集合写真

### B、小型戦没船・戦没船員

- 1、日本船員の戦後は終わっていない(別掲)
- 2、徴用小型船関係年表
- 3、太平洋戦争戦況と小型船哨戒区域図
- 4、戦没船・戦没船員数推移(グラフ、表)
- 5、小型船戦没船・戦没船員数(都道府県別)
- 6、戦時中の船員募集新聞広告
- 7、戦死通知
- 8、戦闘詳報とメモ
- 9、支援艦栗田丸と特設監視艇群(米軍写真)
- 10、機帆船(100総トン)一般配置図/特設監視艇標準兵装図(海竜丸)
- 11、戦没小型船写真とメモ(10隻分)
- 12、攻撃される日本機帆船(絵)4枚
- 13、特設監視艇による爆雷投下

### 今も海底に眠る船員の遺骨

アジア太平洋戦争で戦没した船舶は大小合わせて1万5千隻余、戦没船員は6万人余と記録されています。それらの戦没場所は北はアリューシャン列島、南は赤道を越えたソロモン諸島に至る西太平洋一帯から、西はインド洋までの広大な海域に及んでいます。

そして、航海中の戦没船は船体も乗組員も、輸送中の将兵も流失されましたが、サンゴ礁地域の戦没船はそのまま放置され、特にミクロネシアの海域では、朽ち果てた船体も遺骨も持ち出し禁止の観光資源として、今も古戦場めぐりのダイバーの好奇心に曝されています。

厚生省によると太平洋戦争の戦没者は約240万人で、このうち遺骨の送還された者約125万人であり、その大部分は陸海軍部隊や海外からの引揚者が持ち帰ったもので、昭和27年の国会決議によって始められた政府の遺骨収集事業によるものは31万人に過ぎません。

約115万人の未送還遺骨のうち、約30万人は「海没遺骨」として、また約26万人は「相手国の事情により収集困難な遺骨」として、政府の遺骨収集事業の対象から除外されている状態です。

戦後60余年、政府による遺骨収集事業の開始から56年が経過してもなお、約半数の遺骨が異国に放置されたままであり、特に「海没遺骨」を収集の対象外にしていることに強い怒りを感じるとともに、戦没船員に対する哀惜の念を禁じえません。

私たちは海の平和を求め、戦没船の悲劇を繰り返さないために活動を続けていますが、戦没船員を含むすべての戦没遺骨が祖国に帰還できるよう強く要求するものです。

戦没前を記録する会



## 日本船員の戦後は終わっていない

太平洋戦争では6万余の日本船員が戦死、1万5千隻以上の日本船舶が戦没し、死亡率では軍人の2倍以上の43%となっている。

しかし、それらの実態記録は、国内他部門や諸外国の例に比べて少なく、今日においても放置されている部分が多い。

特に、300総トン未満の小型船(漁船・機帆船)については、国家的に動員された船員や船が2万人以上戦死、4千隻以上が戦没したと見られ、その多くは、厳寒の海で、波逆巻く海で、逃げ場のない海で、護衛のない海で、有効な武器もない船で、食物もない所で無念・無惨の最後を遂げたと思われる。

その実態についての公表された記録は極めて少なく、一般国民が理解できるものともなっていない。誰が(どの船が)何時・何処で・どのような状態で戦死(戦没)したのか? それさえ分からず、遺骨さえ故郷の地に帰ってきていないものが殆どである。

軍の必要に応じ、何時でも何処でも徴用され、何処へでもどんなことでも強制され、死を恐れることも許されなかった。極端に不足した船や船員を陸海軍が取り合う中で、公式記録には残さないヤミ徴用・強行使用も横行し、軍人が突然船にやってきて、簡単な船舶検査の上即刻軍の指揮下に置くとのこともあった。

これらのしわ寄せは、弱者・少数者により多く押し付けられ、その実態は記録にもとどめられることもなく、葬り去られようとしている。

本来、これらの記録整備は国家の責任において行われるべきものであり、強く要請したい。

我々は、関係者としてできるだけ多くの記録を残そうと努力中であり、少ない資料の下不十分ではあるが、把握し得たものの一部を披瀝すると共に記録の充実を念願している。

戦没船を記録する会

### 展示パネルの内容概要・具体例

- ・日本軍駐留地の殆どに小型船が配置された。
- ・戦没小型船=約4千隻、同戦没船員=約2万人。大型船が欠乏する中で1945年が最多となった。
- ・船が戦没後、助かった船員は軍隊と同道、戦死・餓死との実態も相当数ある。
- ・配備地での局地輸送・哨戒・警備・連絡等が主

な任務であったが、インドネシアの慰安婦を運んだこともある。

・1945年1月朝日新聞の広告

ルソン島 = 米奴撃滅の天王山!

急ぐ補給 = 増産、飛行機と弾薬

船が要る、船員が要る

父兄と教導者は海上輸送、拡充の緊迫を知れ

満14歳以上は直ちに海上特攻隊員たれ!

・木造鯉鮪漁船、113総トン、1934年建造、

乗組み25人。1942年1月、燃料支給という

ので農林省募集に応募、海軍指定の漁獲に従事、軍に納入したが赤字だった。1944年3月海軍徴用となり、哨戒任務に付いた。兵装=7.7ミリ機関銃1、38式小銃3、拳銃2、手留弾10、信号筒5。

1944年5月19日、通信開始直後に通信途絶。詳細不明だが、31-10N154-45E付近で米軍機の攻撃を受け、船もろとも玉砕した模様。

・死亡通知 = 佐世保海軍人事部長より小川村村長宛

貴村出身ノ左記ノ者 昭和20年 月 日南支方面ニオイテ戦死、...

遺族へ御通知方御取計相成度 追而機密保持上生前ノ所属艦船部隊ハ一切他ニ漏ラサザル様遺族ニ御注意被下度候。

来場者の質問・話

海没遺骨は収集対象外の様だが、写真撮れる所なら収集可能なはず、観光資源化等で持ち出し禁止されている場合でも、観光に支障を与えない範囲内等、交渉の余地があるのではないかと。

(老齡男性)

こんな小さな船までが、遠くの海まで出て行って(行かされて) 沢山の人や船が亡くなったなんて、今迄学校でも地域でも聞いたことがなかった。

(中年女性)

14歳といえば今時の中学3年生。男子がみんな戦争に行って死んでしまったら、恋愛も結婚もできない。戦時中の女性はどうしていたのだろう? いやだ! 考えられない! (女子高校生複数)

家族が戦死したというのに、何所でどのように死んだのか分からない。親戚や隣人にも話せない。私なら発狂するかもしれない。(中年女性)

慰安婦は朝鮮の女性だけではなくたのですね。また、徴用船で運んだということは従軍慰安婦だったのでしょうか?(老婦人)

どうして戦争展に参加するようになったのですか?(小学生)

(2008年10月、栗原)



## 亡き父を探して

事務所に訪ねて見えられた木村さんが、お礼のメールとこの原稿を送って下さいました。

ある雑誌に投稿したもので採用されるかどうか分からないようですが、無断で掲載させていただきました。

## 63年目の父

### 服部 遼

明43・8・3生 20・5・29没

死亡場所・日本近海

船名・天領丸 職名・事務長

(戦没船員名簿より)

天領丸 2,231.04トン。

船種 砕氷船首耐寒装備貨客船

建造年月日 大正13年6月1日。

遭難年月 昭和20年5月29日。

遭難場所 宗谷海峡・愛郎岬付近、

北緯46度46分、東経144度16分

### 「船 暦」

南極船宗谷といえば、茶の間でもなじみの船で、現在船の科学館に定置され、一般の観覧に供されている。川南工業・香焼島で建造された船である。竣工当時の船名をポロチャエベツ号といい、ソ連政府の発注により建造されたものであったが、契約が破棄されたため、当社に運航を委託してきたものであった。

当社運航となった天領丸は、その後大改装を行い、貨物船として日本近海に配船された。日華事変となり、陸軍に徴用されて軍需物資輸送に従事、引き続き太平洋戦争になって、北洋の輸送に活躍した。昭和20年4月、戦局はすでに落日の様相を呈し、等閑視されていた北方海域にも、ひしひしと危険が迫っていた。

5月、千島列島に配属されていた部隊の引き揚げが行われ、26日、幌延島守備隊を乗せた本船は僚船呉竹丸、春日山丸とともに柏原港を出港した。29日、宗谷海峡を目前にして、僚船呉竹丸とともに敵潜水艦の放った魚雷により撃沈された。沈没時、45名が船と運命を共にした。

(山下新日本汽船 殉職者追悼録より)

船団は幌延島片岡港出港後オホーツク海に入り、樺太南部を目標に航行した。海上は濃霧状態

で敵襲はなく、順調に航行したが29日、20時55分、北緯46・46東経144・16(中知床岬北東150キロ)愛郎岬東方で呉竹丸とともにアメリカ潜水艦(SS392)スターレットの発射した魚雷一発を第4船倉に受けて急速に傾斜したため、総員退船となった。しかし荒天により救命艇が転覆したことも含め兵員773名、船砲隊26名、船員57名計856名が死亡した。なおこの船団での兵員輸送は千島に残存する部隊を他に転用するためのものであった。(戦時輸送船団史より)

長いこと知りたかった父の戦死の場所と、乗っていた船のことが、パソコンのおかげでわかったのだ。63年という歳月が一挙に縮まった。それはまったくの偶然がもたらした幸運なできごとだった。

長年気にかけていた父の戦死した場所は樺太愛郎岬、乗っていた船の名は「天領丸」とわかり、もしやと開いたインターネットで目にした「戦没船を記録する会」。設立は1994年3月、海員と戦争に関する調査、研究、歴史を明らかにし、調査結果を基に戦没船の記念碑を建立するなど、後世に保存することを目的に行う事業の一項目に「各船戦没状況、戦没者氏名の調査」とあったので、私はすぐにメールを送ったのだ。

翌日、会事務局の篠原さんが電話をくださった。私は知りたい内容をお話し、早速、港区芝の事務所をお尋ねしたのである。事務所はマンションの一室で、さすが船員暦の長い方らしいやわらかな身のこなし、資料などもきちんと整理整頓され、壁には九条の会や東京大空襲のポスターが貼られている。役員の篠原さんは天領丸の写真をはじめ、冒頭に掲げた資料のコピーを揃えて待っていてくださった。はじめて父の姿を臉に描くことができたのだ。私は心から感謝した。

篠原さんは毎日、事務所に詰めていらっしゃるそうだが、お歳は80歳とのこと。穏やかなお話の端々にご苦労を内に秘め、活動の中心となって会を支えて来られたに違いないと頭がさがる思いとともに、不戦を願う活動は一人ひとりの強い思いによって広がっていくのだと、熱いものが私の体一杯に満ちてくるのだった。いただいた「戦没船を記録する会十年史」の巻頭言は次のように書いている。

「日本連合艦隊の壊滅、軍人の戦死については戦史

に語り伝えられても、戦没船や戦没船員のことは人々の話題に上ることもない。

戦時徴用された商船や漁船の悲劇については、これを知る人は少ない。われわれはこのことを憂え、『繰り返すまじ戦没船の悲劇』を世に訴え、海の恒久平和を願う(抜粋)

ものものしい手続きをして、やっと厚労省から送られてきた父、服部 遼の戦死の記録は

昭和20年5月29日 戦死

戦没場所 樺太愛郎岬沖東方35哩

天領丸(2193トン)沈没

最終階級 傭人

たったこれだけだった。きっとほとんどの戦死者の知らせも、このように冷淡なものだったに違いない。

1935年、私が生まれてすぐ父と母は離婚している。どうしても一緒に暮らせない事情があったのだ。父も母もそれぞれ戦禍をかいめぐり、住家も職場も転々としながら、母は私を守り育て、父は死んだ。戦没者を追悼しつづける「戦没船を記録する会」のおかげで、私は63年目にして父に出会うことができた。

父は私のことを思ってくれていただろうか。そんなことはわからない。でも私は私の父を確認できたことで、今は心が落ち着いている。

木村 康子

## 許せない厚生年金記録改ざん

### 権利の早期完全回復を

#### 改ざん実態

厚生年金の改ざんが大々的に行われていたことが明らかとなり、社会的に大問題となっている。

改ざんの中身は、厚労省発表では 標準報酬が5等級以上引き下げられていたもの75万件 標準報酬の引き下げ処理がなされたときから厚生年金からの脱退(資格喪失)処理も行われていたもの16万件 半年以上遡って月額が訂正されていたもの53万件とされているが、これは「氷山の一角」に過ぎず、これ以外にも加入期間の短縮、オンライン化以前の改ざんも相当数あるとみられる。

改ざんの背景・理由として「会社都合で保険料を滞納した事業主と、保険料の徴収率を上げたい社保庁の思惑が一致、社保庁職員の関与があった」と

言われている。しかし、この改ざんにより、年金がもらえない人、年金受給額が減額される人が発生する。しかも、改ざんされた該当者には、改ざんの実実は知らされておらず、該当者が気づいていないのが殆どである。

被保険者(国民)を騙し、損害を与えた背信行為であり、詐欺罪にも値するものである。国民を守るべき公僕がなんとしたことをしてくれたのかと怒り心頭、呆れるばかり。

しかし、これだけのことは現場レベルのみではできないことではない、保険料の徴収実績改善のあり方にも問題があったのではないか。少なくとも、政府を含めて監督立場の責任は問われねばならない。

政府は、「厚生年金の全記録を調査し、改ざんの疑いがある記録の持ち主に通知する」としているが、自ら調査・チェックし得ない人も居るので、通知のみでなく、その人の身になった相談とアドバイスを行うべきである。

自らもチェックを

一方、通知自体が正しく行われるのか、何時になるのか信じ難い状況にある。多くの障害があり安易ではないが、自らチェックしてみることが必要と思われる。

チェックのベスト方法等はケースにより異なり確定し難いが、次のことも一方法と思われる。

- 1、当時の給料実態を把握する = 給料明細書がない場合は、家計簿・預金通帳(無ければ金融機関に相談してみる)を参考、勤務会社に問い合わせる、協約書・従業員規則等から計算する。
- 2、「被保険者記録照会回答票(資格画面)」(近くの社会保険事務所でも入手できる)の「得喪日」「月・賞」欄から当時の加入・脱退・標準報酬をチェック(自分の記録や記憶と対比)してみる。
- 3、チェック結果を地域の社会保険事務所ですべて再チェック(相談)してみる。
- 4、問題あれば、社会保険事務所又は年金記録確認第三者委員会に記録の訂正を求める。

(2008.10月 栗原)

#### 編集後記

事務所の閉鎖が12月になりましたので、それ以降の体制や連絡先などは11月の理事会で決定し、告示する予定にしています。

今後の活動のあり方などについて、ご意見・ご希望などお知らせ下さい。